

今月の

逸品

NO.11 2016.02



MUSEUM OF EDUCATION

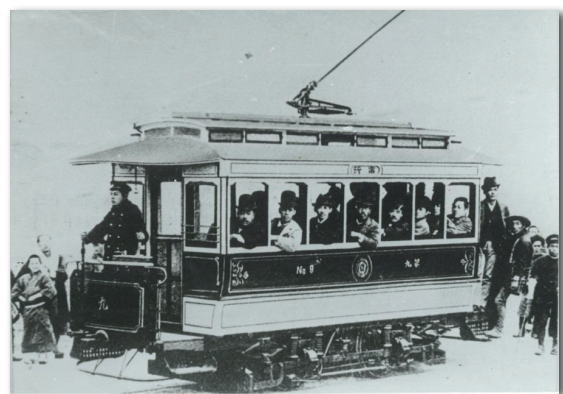


### 電車模型・架空複線式

島津製作所製造 昭和初期

281 mm × 98 mm × 288 mm

日本における路面電車の歴史は、明治 28 (1895) 年 2 月 1 日に京都で開業されたものから始まる。これは京都で走っていた架空複線式電車の模型で、製造した島津製作所の資料館にも所蔵されていない貴重な資料。京都市交通局には、同年 4 月 1 日に七条から岡崎の博覧会場へいたる路線が開業された際の、前日試運転の様子を伝える写真が残されているが、それと見比べると、細部にいたるまで見事に再現されていることがわかる。開業当初、京都電気鉄道株式会社が営業した京都の路面電車は、明治 45 年の市電の登場、大正 7 (1918) 年の完全市営化を経て、昭和 53 (1978) 年 9 月 30 日に廃止されるまで、長きにわたり市民の足となった。大正 2 年 7 月に大阪の天王寺公園で開催された関西教育博覧会では、その会場で「電車模型」を走らせたという。



市内線開業の前日試運転の様子  
(明治 28 年 3 月 31 日)

写真：京都市交通局